

令和7年度 大竹市 防災セミナー

令和7年6月1日 アゼリア大竹（2F大会議室）

玖波一丁目自主防災会活動報告 （巨大地震発生を想定した訓練）

自主防災会会長 賀屋幸治

玖波一丁目防災活動の成果

①戸建住宅と公営住宅との交流促進

「無事です」タオルを活用した安否確認訓練実施により防災意識の向上と人的交流が促進された

②非耐震家屋調査と救助目標の明確化

倒壊危険性の家屋を把握し安否確認後、要救助者救出活動を最優先する目標を共有できた

③連絡網構築と情報伝達訓練実施

4グループ23班別の連絡網作成により組織として体制が整い防災訓練が充実した

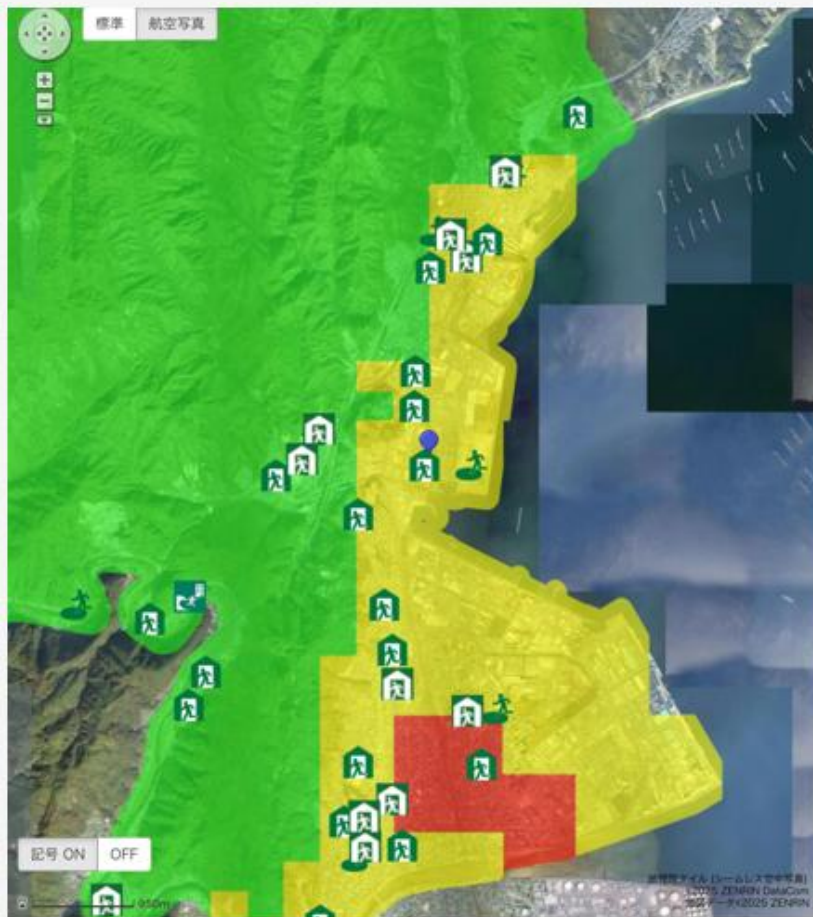
自主防災会活動相談会の開催 令和5年12月18日（コミサロ玖波）

- ① 玖波一丁目の防災活動の現状分析（地域住民の防災意識）
- ② 防災活動取り組みへの指導
- ③ 広島県自主防災アドバイザー柳迫長三先生
- ④ 巨大地震発生を想定した防災訓練
- ⑤ 新年度からスタート（体制充実・訓練計画・訓練実施）

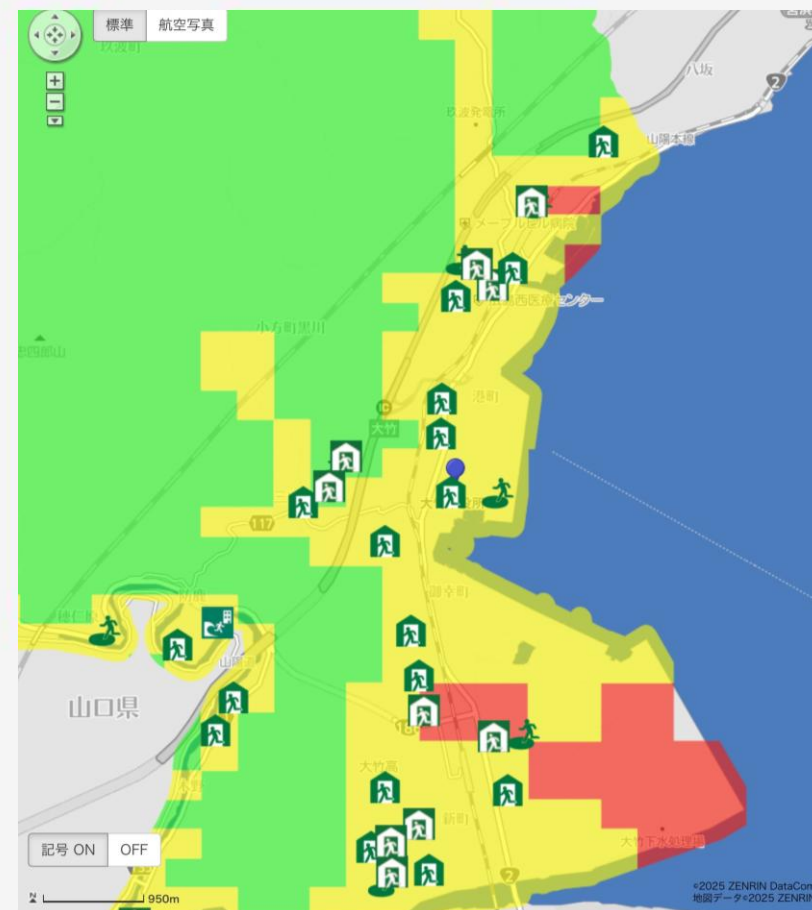
巨大地震発生の被害想定（震度分布図）

震度 6 強（赤色） 震度 6 弱（黄色）

南海トラフ地震発生時



安芸灘断層群地震発生時



建物全壊危険度マップ

南海トラフ地震発生時



建物倒壊率

	3%以上
	2%以上
	1%以上
	1%未満

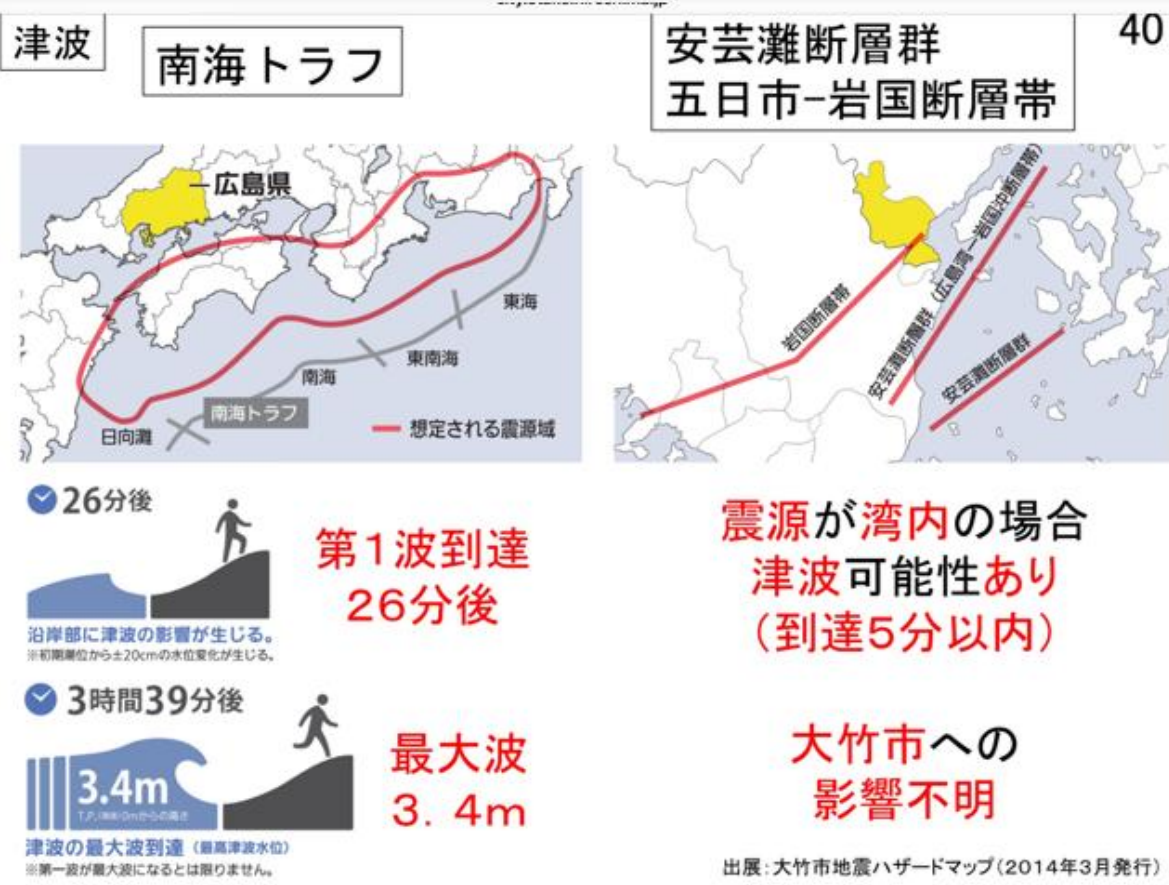
	15%以上
	10%以上
	5%以上 ~
	5%未満

安芸灘断層群地震発生時



巨大地震発生による津波浸水想定区域

堤防が機能しない場合の浸水区域



令和6年度 第1回 自主防災役員会 R.6.5.10 (コミサロ玖波)

令和6年5月10日(金)
コミサロ玖波 18時～

玖波1丁目自主防災役員会

1. 防災役員の体制について

2. 緊急連絡網の構築について

3. 今後の活動内容について

4. その他

① 安否確認の情報収集と伝達方法の構築

② 避難呼びかけ体制の構築

③ 高齢者等(要配慮者)避難誘導体制の構築

④ 非耐震家屋調査と対策

役員体制充実

Aグループ 4班 9名

Bグループ 3班 8名

Cグループ 3班 8名

Dグループ 13班 3名

自主防災会役員名簿

R.6.5.10

玖波一丁目自治会役員体制と班の変更に合わせ自主防災会も次のとおりグループ分けと役員の選任になります。

Aグループ 1班～4班(43世帯) 44

Bグループ 5班～7班(31世帯) 28

Cグループ 8班～10班(37世帯) 34

Dグループ 市営56世帯、県営40世帯 36 28

玖波一丁目自主防災会

会長 賀屋 幸治

(Tel 090-2299-7329)

役員名簿及び連絡先

役 職	氏 名	G(班)	備 考	連 絡 先
会 長	賀屋 幸治 (GL)✓	D(9)		
副会長	大谷 喜作 (GL)✓	A(4)	自治会長	
"	佐伯 隆 (GL)✓	B(6)	地域防災リーダー	
"	片桐 則行 (GL)✓	C(8)		
役員	坂本 守 ✓	B(6)	"	
"	岡田 澄夫 ✓	A(4)	"	
"	中村 敦志 ✓	A(1)	防災役員	
"	網本 正明 ✓	A(1)	"	
"	橋本 正志 ✓	A(2)	"	
"	中川 雅夫 ✓	A(2)	"	
"	加屋 敏成 ✓	A(3)	"	
"	畑中 満則 ✓	A(3)	"	
"	梅村 幸男 ✓	A(3)	"	
"	中本 猛男 ✓	B(5)	"	
"	倉本 正治 ✓	B(6)	"	
"	木元 昭恵 ✓	B(6)	"	
"	星野 貴恵 ✓	B(7)	"	
"	島田 光明 ✓	B(7)	"	
"	平田 勇三 ✓	B(7)	"	
"	上野 正志 ✓	C(8)	"	
"	土坂 マチ子 ✓	C(8)	"(民生委員)	
"	石原 裕敬 ✓	C(9)	"	
"	石原 佳伸 ✓	C(9)	"	
"	花園 榮子 ✓	C(10)	"	
"	鈴木 弘剛 ✓	C(10)	"	
"	平本 政司 ✓	C(10)	"	
"	白木 寛子 ✓	D(市営)	"(福祉委員)	
"	松島 宋直 ✓	D(市営)	"	
"	浜田 絹恵 ✓	D(県営)	"	

地区のグループ分けと班別役員体制

玖波一丁目個別明細地図

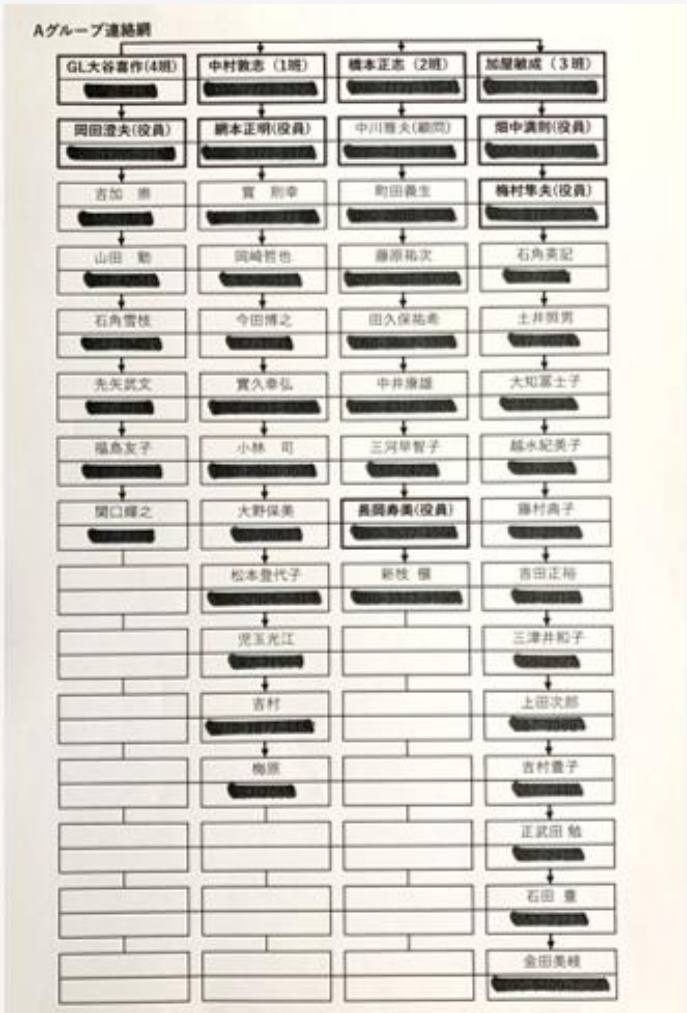


グループ分け班割図

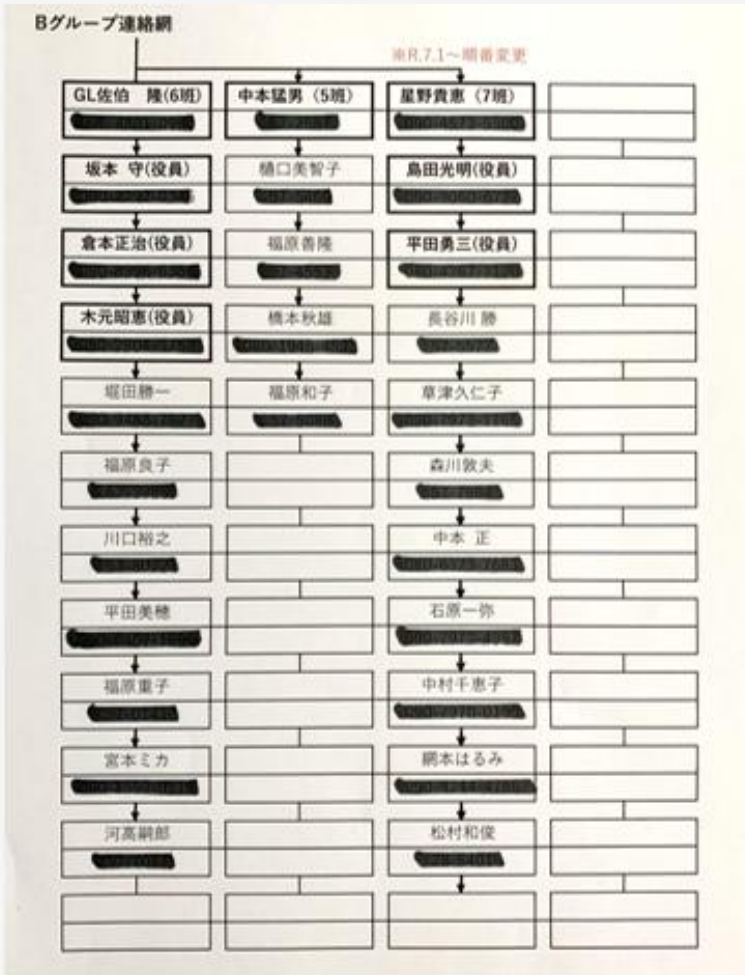


緊急連絡網作成 (A.B.Cグループ)

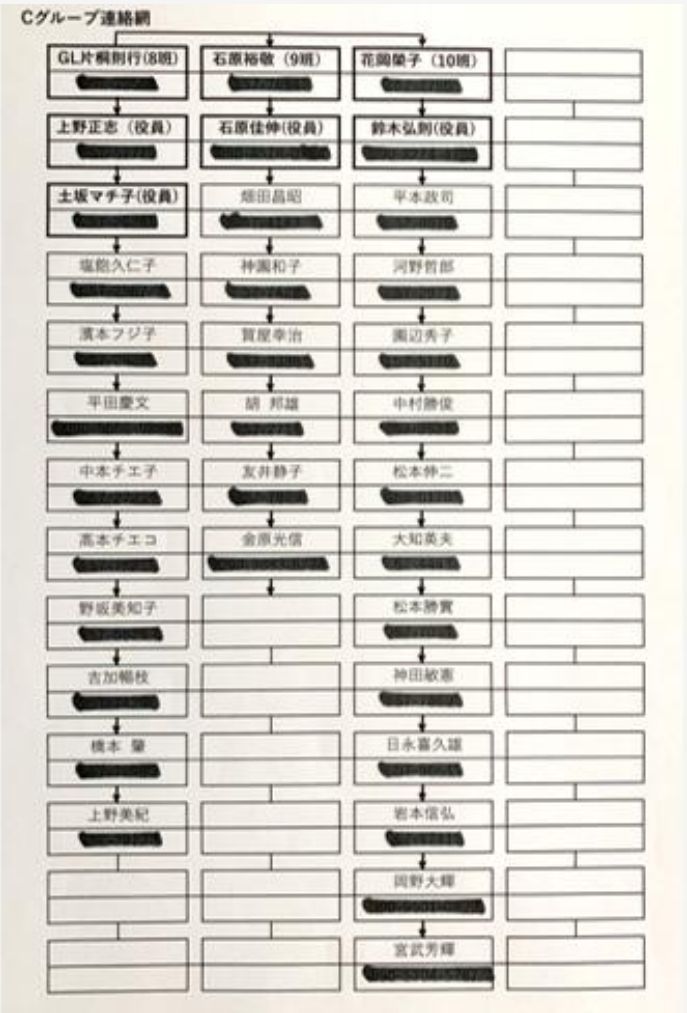
Aグループ44世帯



Bグループ27世帯

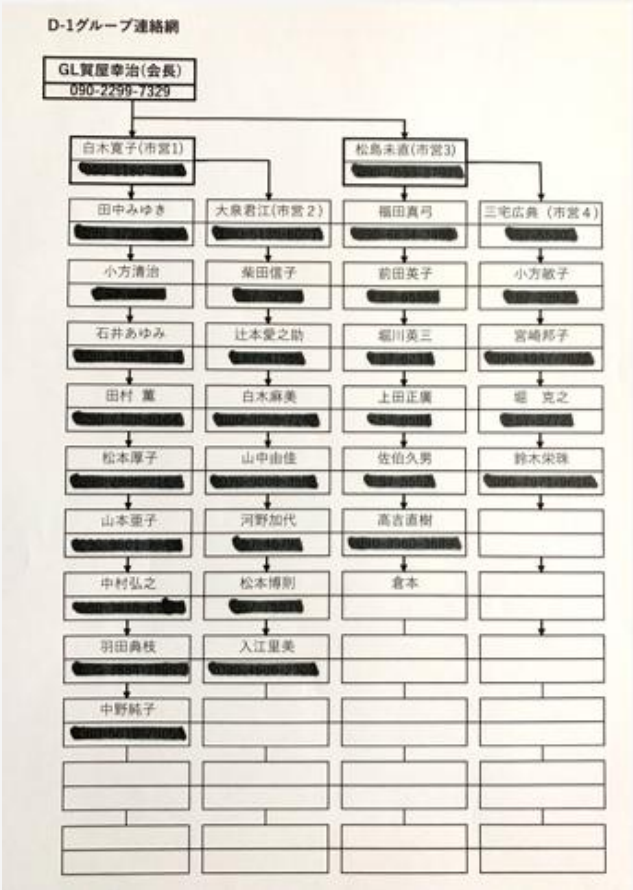


Cグループ34世帯

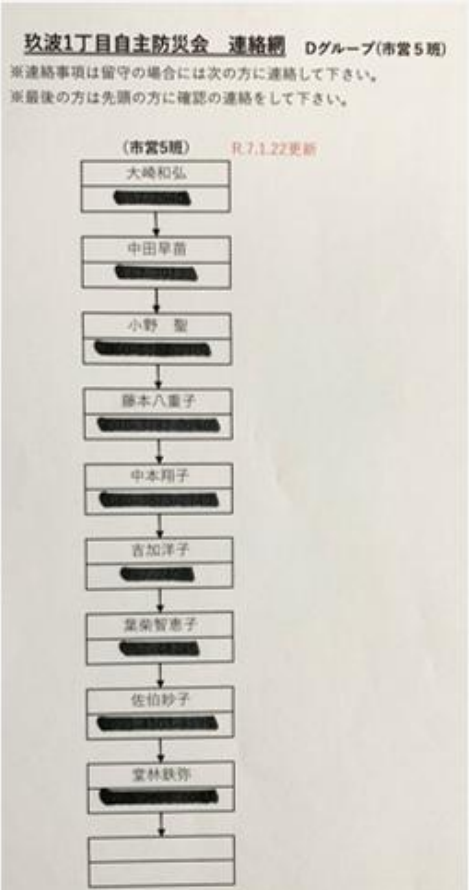


緊急連絡網作成 (Dグループ市営住宅)

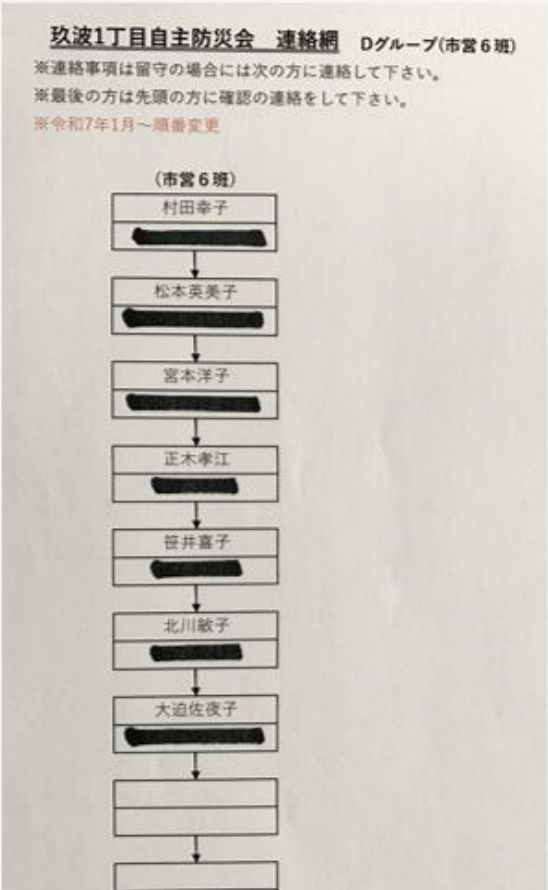
市営1～4班 30世帯



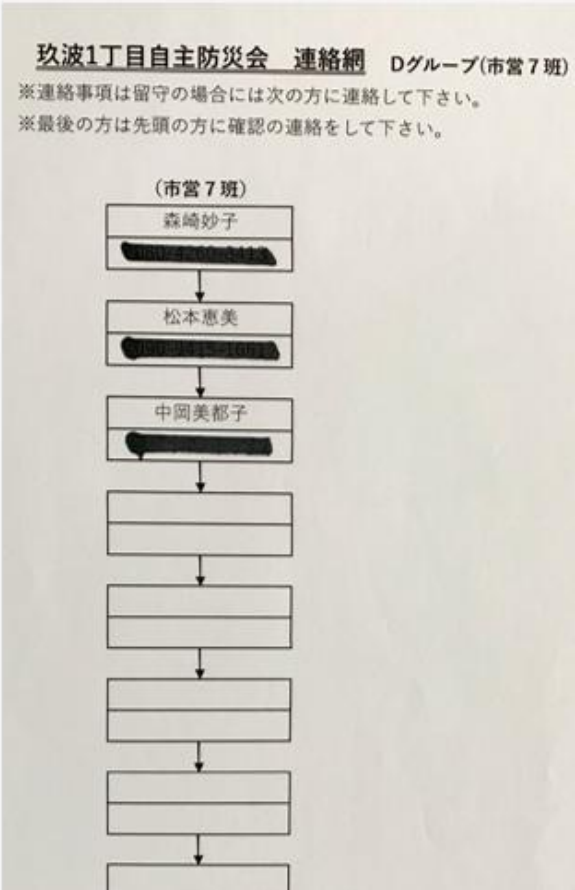
市営5班 9世帯



市営6班 7世帯



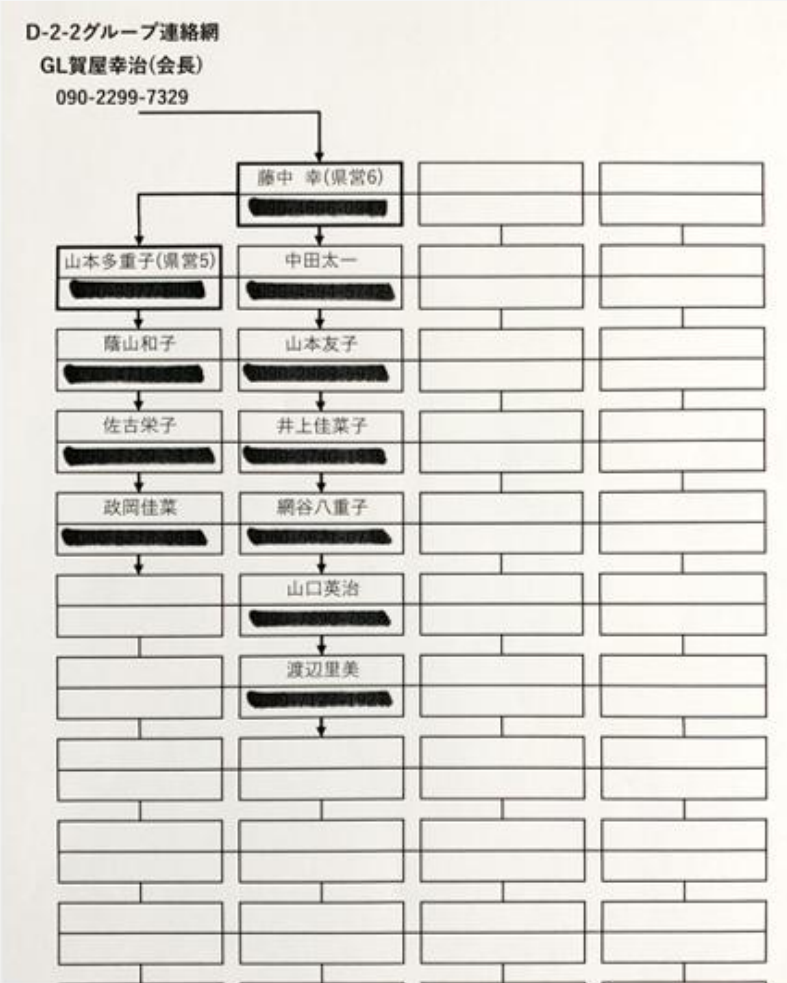
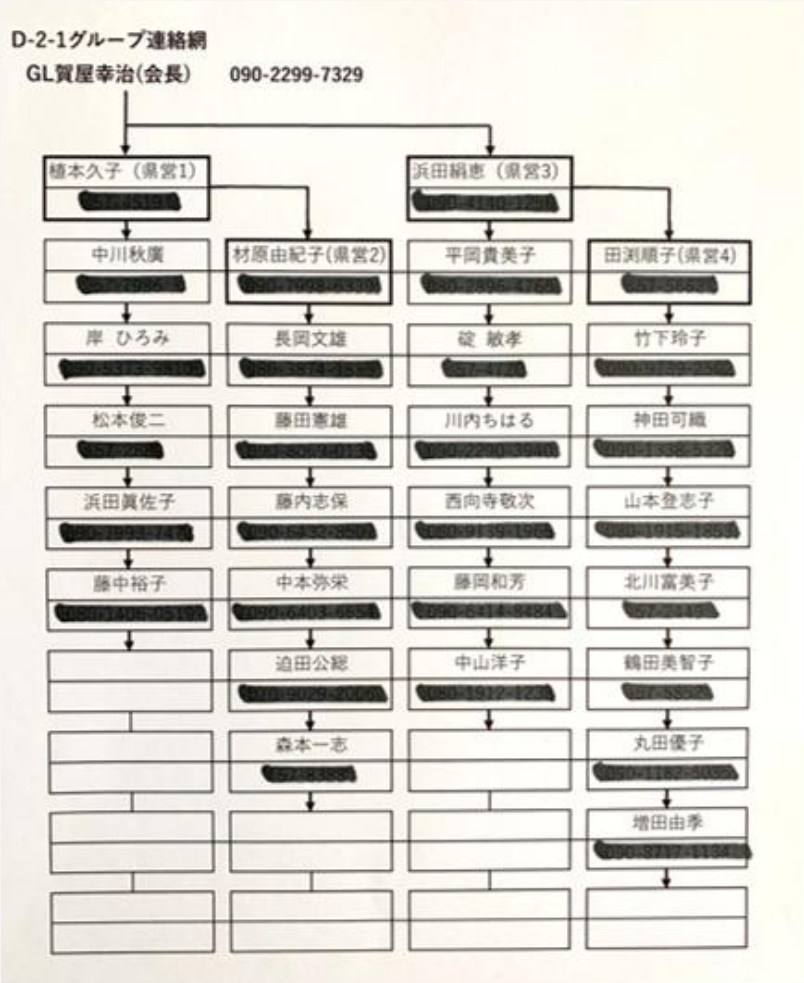
市営7班 3世帯



緊急連絡網作成（Dグループ県営住宅）

県営 1 ～ 4 班 28世帯

県営5～6班 11世帯



市営住宅自治会未加入世帯への説明会開催

市営住宅3号棟への連絡網参加協力依頼

5班→9世帯参加

6班→7世帯参加

7班→3世帯参加

令和6年6月5日
玖波1丁目自主防災会
会長 賀屋 幸治
連絡先 090-2299-7329

自主防災会からのお願い（案内）

このたび玖波1丁目自主防災会の活動目標として大規模災害（巨大地震）への対策が急務であることから被害想定に沿った防災活動（訓練等）が重要です。このためまずは住民同志が協力して安否確認や避難行動が取れるよう準備が必要です。

自主防災会は自治会未加入の方も含め住民全世帯を対象に防災活動を行います。

現在、自主防災会では地区を4ブロック（ABCD）に分け緊急事態に備えて連絡網の整備を進めていますが、市営住宅3号棟の連絡網が出来ていません。この作業には住民の皆さんのご理解とご協力が必要です。

つきましては、3号棟の皆さんと防災活動の意見交換会を下記のとおり開催致しますのでご参加頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

記

1. 日 時 令和6年6月17日（月曜日） 午後6時～
2. 場 所 市営住宅集会所

安否確認体制と情報伝達訓練

県自主防災アドバイザー柳迫先生からのアドバイス

★安否確認訓練として**「無事です」**タオル掲載

★各班の役員が巡回しタオル掲載を確認の上報告

★高齢者世帯等希望者に**「呼子笛」**を配布

★負傷者搬送用に**「小型アルミ製リヤカー」**を購入

安否確認訓練準備

「無事です」タオルと呼子笛



小型アルミ製リヤカー



役員会開催案内（訓練実施案内）

令和 6 年 8 月 7 日

役員 各位

玖波 1 丁目自主防災会
会 長 賀 屋 幸 治

自主防災会の役員会開催案内

自主防災会で取り組んでいました連絡網がほぼ出来たので確認と活用方法などについて下記のとおり役員会を開催致しますのでご出席頂きますようお願い致します。

記

1. 日 時

令和 6 年 9 月 9 日（月）18:00～19:30

2. 場 所

コミュニティサロン玖波（多目的室）

3. 内 容

連絡網の確認と活用方法等について

4. その他

今後の訓練計画等について

以上

令和 6 年 11 月 20 日

役員 各位

玖波 1 丁目自主防災会
会 長 賀 屋 幸 治

R. 6 第 3 回 自主防災役員会の開催案内

前回 9 月 29 日の連絡網訓練及び 10 月 20 日の安否確認訓練の実施において役員の皆様には大変なご足労を頂きありがとうございました。

成果として安否確認の訓練参加率は 194 世帯中 148 世帯で 76.28%の好評価でしたが共助活動を強化するためには今後も繰り返し訓練を行い内容の充実に向け検証・改善に取り組む必要があります。

つきましては、下記のとおり役員研修会を開催致しますのでご出席頂きますようお願い致します。

記

1. 日 時

令和 6 年 12 月 22 日（日）13:00～16:00

2. 場 所

コミュニティサロン玖波（多目的室）

3. 内 容

避難の呼びかけ体制（ステップアップ訓練）の研修
①防災基礎研修（市危機管理課）
②訓練検証・改善策指導（県防災アドバイザー）
③質疑応答

4. その他

今後の訓練計画等について

※当日 12 月 22 日（日）12:00 に第 2 回目の大地震安否確認訓練を行います。
詳細は 1 週間前（12/15）に回覧しますので周知確認をお願いします。

以上

令和 7 年 1 月 10 日

役員 各位

玖波 1 丁目自主防災会
会 長 賀 屋 幸 治

R. 6 年度 第 4 回 自主防災役員会の開催案内

前回 12 月 22 日の連絡網訓練及び安否確認訓練の実施において役員の皆様には大変なご足労を頂きありがとうございました。

成果として安否確認の訓練参加率は 193 世帯中 122 世帯の 63.21%で初回訓練(10 月 20 日)の 76.28%に比べると後退した結果となりました。

これは連絡網伝達や回覧板未達など情報共有の不備が挙げられますが、共助活動を強化するためには今後も繰り返し訓練を行い検証・改善に取り組む必要があります。

つきましては、令和 6 年度第 4 回役員会及び第 3 回目の訓練を下記のとおり開催致しますのでご出席頂きますようお願い致します。

記

1. 日 時

令和 7 年 2 月 9 日（日）13:00～15:00

2. 場 所

コミュニティサロン玖波（多目的室）

3. 内 容

①非難の呼びかけ訓練（南海トラフ地震臨時情報発令想定）
②訓練検証・改善策指導（県防災アドバイザー）
③質疑応答
④救急講習（大竹消防署による負傷者救出と応急処置の方法）

4. 【訓練内容】

①当日 2 月 9 日（日）12:00 に第 3 回目の大地震安否確認訓練を行います。
②訓練日時は前日に連絡網で伝達します。また、訓練内容の詳細は 10 日前（2/1）に回覧版を廻しますので周知確認をお願いします。
③12:30 に南海トラフ地震臨時情報が発令されたことを連絡網で伝達します。
④役員は訓練結果をグループリーダーに報告します。

5. その他

以上

安否確認訓練実施（役員会案内）

第1回安否確認レジメ

令和6年9月9日（月）
コロナ対策 18時～

R.6 第2回 自主防災役員会

1. 緊急連絡網の確認と活用方法について

- ① 連絡網に変更があった場合は各班の役員で修正して共有する。
- ② 非常時に電話が不通の場合は口頭で伝達する。（留守はメモを残す）
- ③ 連絡網は個人情報として班内のみ共有する。（取扱注意）

2. 連絡網実践訓練について

- *日程時刻の決定

3. 今後の活動内容について

- ① 安否確認の情報収集と伝達方法の構築訓練（安否確認訓練実施）
 - *「無事です」タオル 300枚、呼び笛 50個、アルミ製リヤカー1台
- ② ステップアップ訓練（市危機管理課、県自主防災アドバイザー）
 - *個別研修会（12月22日（日）13:00～16:00を予定）
 - *呼びかけ訓練（2月9日（日）13:00～15:00を予定）
 - *訓練実施・検証・反省点洗い出し
- ③ 高齢者等（要配慮者）避難誘導体制の構築
 - *各班で対象者を把握し役員で共有する。
- ④ 非耐震家屋調査と対策
 - *昭和57年以前の本造住宅を調査し耐震対策・安全対策の状況を把握する。

4. その他

第2回安否確認レジメ

令和6年12月22日（日）
コロナ対策 13時～

R.6 第3回 自主防災役員会

避難の呼びかけ体制（ステップアップ訓練）の研修

1. 防災基礎研修について（大竹市危機管理課 堀江主幹）

2. 訓練検証・改善策指導について（県防災アドバイザー柳迫先生）

- ① 連絡網構築と伝達訓練(9/29),(12/21)
- ② 安否確認訓練(10/20),(12/22)
- ③ 非耐震家屋調査と呼び笛配布(10/20)
- ④ 負傷者救出搬送訓練(12/22)

3. 今後の活動について

- ① 避難呼びかけ訓練（R.7年2月9日（日）13:00～15:00を予定）
- ② 高齢者等（要配慮者）避難誘導体制の構築

4. その他

第3回安否確認レジメ

令和7年2月9日（日）
コロナ対策 13時～

R.6年度 第4回 自主防災役員会

避難の呼びかけ体制（ステップアップ訓練）の研修

1. 避難の呼びかけ訓練（南海トラフ地震臨時情報発令）

- ・発令時の対応

2. 訓練検証・改善策指導について（県防災アドバイザー柳迫先生）

- ① 連絡網訓練結果と伝達結果
- ② 安否確認訓練結果
- ③ 負傷者救出搬送訓練

3. 救急講習会（大竹消防署）

- ・負傷者救出方法
- ・応急手当方法

4. 今後の活動について

- ・高齢者等（要配慮者）避難誘導体制の構築

5. その他

訓練実施案内「回覧板」の周知

連絡網訓練実施の回覧板

回覧

令和6年9月10日

自主防災会からのお知らせ

玖波一丁目自主防災会

この度、大規模災害（大地震）を想定した訓練の一環として非常時の連絡網を作成しました。

連絡網の実施訓練を9月29日（日）午前9時から行います。

- ※1. 各班毎に防災役員からの連絡事項を次の方に伝達して下さい。
- ※2. 次の方に連絡が付かない場合は次の次の方に連絡して下さい。
- ※3. 連絡が付かなかった事を班役員（先頭の方）に連絡して下さい。
- ※4. 非常時に電話が不通の時は口頭で伝達して下さい。（留守はメモを残す）
- ※5. 連絡網は個人情報として大切に保管して下さい。（取扱注意）

連絡網（例）

Aさん

TEL00-0000

↓

Bさん

TEL00-0000

↓

本人

TEL00-0000

↓

Cさん

TEL00-0000

↓

Dさん

TEL00-0000

↓

Eさん

TEL00-0000

※最後の方は先頭の方に連絡して下さい。

安否確認訓練実施日時
を連絡網訓練で伝達

第1回安否確認訓練の回覧板

回覧

令和6年9月10日

安否確認訓練のお知らせ

玖波一丁目自主防災会

南海トラフ巨大地震の発生確率が高まっている中、8月8日宮崎県日向灘でマグネチュード7.1 震度6弱の地震がありその後1週間は南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意が発表」されました。自主防災会では巨大地震に備えて安否確認の訓練を次の通り行いますのでご協力をお願いします。 訓練実施日は後日連絡網で伝達します。

1. 訓練実施日時	令和6年10月 日（ ）午前10時～訓練開始
2. 訓練内容（手順）	* 1. 訓練開始時刻（午前10時）に巨大地震発生 * 2. 在宅家族の安全を確認後「無事です」タオルを掲げる。 * 3. 各班の防災役員は各戸のタオル掲示の有無を確認する。 * 4. 防災役員は安否情報を本部に報告する。（30分以内）
3. 訓練検証	役員による総括会議（約30分）
4. 訓練終了	午前11時を予定
5. 役員集合場所	コミュニティサロン玖波

掲載事例

（「無事です」タオルは各戸に1枚配布）



安否確認訓練実施の回覧板（2回目、3回目）

回覧

令和6年12月15日

安否確認訓練(2回目)のお知らせ

玖波一丁目自主防災会

巨大地震発生を想定した第2回目の安否確認の訓練を次の通り行いますのでご協力をお願い致します。また、訓練実施前日には連絡網で伝達します。

1, 訓練実施日時

令和6年12月22日(日)12時(昼)～訓練開始

2, 訓練内容(手順)

*1, 訓練開始時刻(昼12時)に巨大地震発生

*2, 在宅家族の安全を確認後「無事です」タオルを掲げる。

*3, 各班の防災役員は各戸のタオル掲示の有無を確認する。

*4, 防災役員は安否情報を本部に報告する。(13時まで)

3, 訓練検証

役員による総括会議(13時から役員研修会)

4, 訓練終了

午後1時を予定

5, 役員集合場所

コミュニティサロン玖波

掲載事例

(「無事です」タオルは各戸に1枚配布済)



※タオル掲載箇所は戸建住宅は玄関周りの見やすい処に掛けて下さい。
※市営・県営住宅は恵川側（大竹側）のベランダに掛けて下さい。

回覧

令和7年2月1日

安否確認訓練(3回目)のお知らせ

玖波一丁目自主防災会

巨大地震発生を想定した第3回目の安否確認の訓練を次の通り行いますのでご協力をお願い致します。また、訓練実施前日に連絡網で伝達します。

1, 訓練実施日時

令和7年2月9日(日)12時(昼)～訓練開始

2, 訓練内容(手順)

*1, 訓練開始時刻(昼12時)に巨大地震発生

*2, 在宅家族の安全を確認後「無事です」タオルを掲げる。

*3, 各班の防災役員は各戸のタオル掲示の有無を確認する。

注意

追加訓練

*4, 12時30分「南海トラフ地震臨時情報」が発令された事を改めて連絡網で伝達。(避難の呼びかけ訓練)

*5, 防災役員は安否情報をグループリーダーに報告する。

3, 訓練検証

役員による総括会議(13時から役員会)

4, その他

15時～コミサロ玖波で「ぜんざい」の炊き出し訓練有。

掲載事例

(「無事です」タオルは各戸に1枚配布済)



※タオル掲載箇所は戸建住宅は玄関周りの見やすい処に掛けて下さい。
※市営・県営住宅は恵川側（大竹側）のベランダに掛けて下さい。

安否確認訓練結果集計表

第1回目(10/20)

訓練参加率 76.28%

自主防災会 訓練参加総括表(第1回安否確認訓練)						
R.6.10.20						
グループ(担当)	班別	戸数	参加数	担当役員	TEL	携帯電話
A (大谷喜作)	1	12	12	中村敦志	〇〇〇〇〇〇	
				網本正明	〇〇〇〇〇〇	
	2	9	9	橋本正志	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
				中川雅夫	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
B (佐伯 隆)	3	15	13	加屋敏成	〇〇〇〇〇〇	
				畑中満則	〇〇〇〇〇〇	
				梅村幸夫	〇〇〇〇〇〇	
	4	8	5	大谷喜作	〇〇〇〇〇〇	
C (片桐剛行)				岡田達夫	〇〇〇〇〇〇	
	5	5	4	中本猛男	〇〇〇〇〇〇	
	6	11	7	佐伯 隆	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
				坂本 守	〇〇〇〇〇〇	
D (賀屋幸治)				倉本正治	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
				木本昭憲	〇〇〇〇〇〇	
	7	12	11	星野真希	〇〇〇〇〇〇	
				島田光明	〇〇〇〇〇〇	
参加率 76.28%						
23班 194戸 148名 32名						

第2回目(12/22)

訓練参加率 63.21%

自主防災会 訓練参加総括表(第2回安否確認訓練)						
R.6.12.22						
グループ(担当)	班別	戸数	参加数	担当役員	TEL	携帯電話
A (大谷喜作)	1	12	4	中村敦志	〇〇〇〇〇〇	
				網本正明	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
	2	9	7	橋本正志	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
				中川雅夫	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
B (佐伯 隆)	3	15	12	加屋敏成	〇〇〇〇〇〇	
				畑中満則	〇〇〇〇〇〇	
				梅村幸夫	〇〇〇〇〇〇	
	4	8	5	大谷喜作	〇〇〇〇〇〇	
C (片桐剛行)				岡田達夫	〇〇〇〇〇〇	
	5	5	5	中本猛男	〇〇〇〇〇〇	
	6	11	9	佐伯 隆	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
				坂本 守	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
D (賀屋幸治)				倉本正治	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
				木本昭憲	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
	7	11	10	星野真希	〇〇〇〇〇〇	
				島田光明	〇〇〇〇〇〇	
参加率 63.21%						
23班 193戸 122戸 32名						

第3回目(2/9)

訓練参加率 74.09%

自主防災会 訓練参加総括表(第3回安否確認訓練)						
R.7.2.9						
グループ(担当)	班別	戸数	参加数	担当役員	TEL	携帯電話
A (大谷喜作)	1	12	8	中村敦志	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
				網本正明	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
	2	9	7	橋本正志	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
				長岡寿美	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
B (佐伯 隆)	3	15	14	加屋敏成	〇〇〇〇〇〇	
				畑中満則	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
				梅村幸夫	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
	4	8	8	大谷喜作	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
C (片桐剛行)				岡田達夫	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
	5	5	5	中本猛男	〇〇〇〇〇〇	
	6	11	6	佐伯 隆	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
				坂本 守	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
D (賀屋幸治)				倉本正治	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
				木本昭憲	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
	7	11	10	星野真希	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
				島田光明	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
参加率 74.09%						
23班 193戸 143戸 32名						

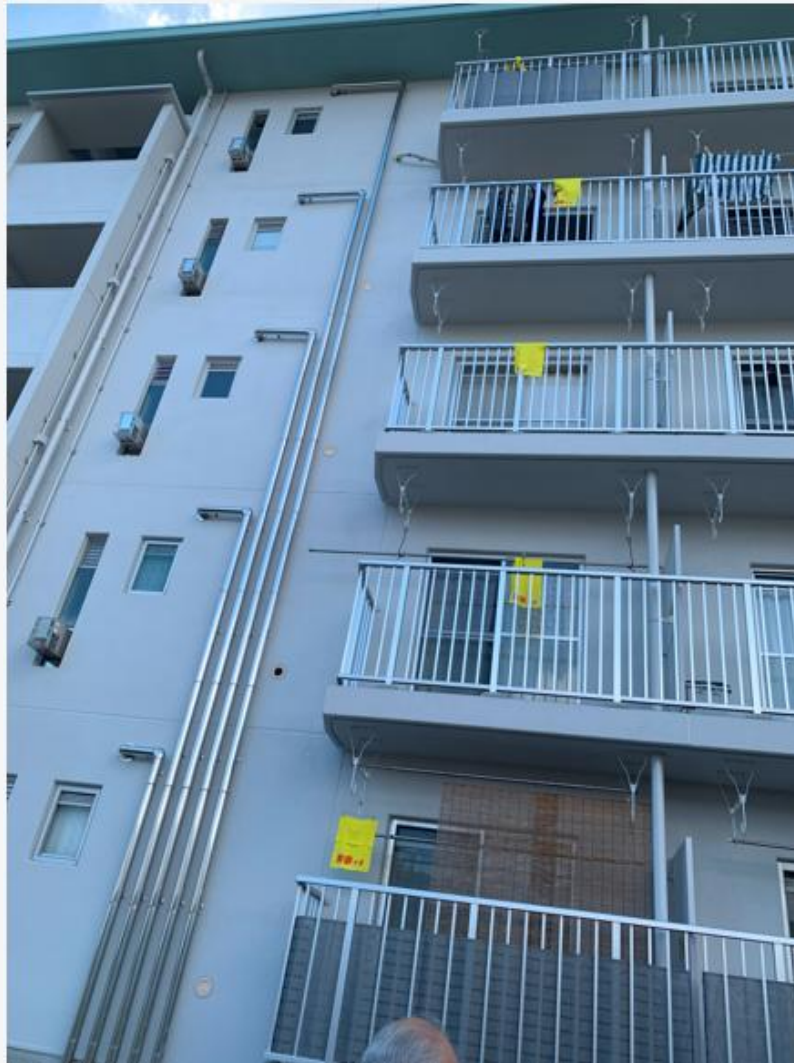
安否確認訓練「無事です」タオル実施状況



安否確認訓練「無事です」タオル実施状況



安否確認訓練「無事です」タオル実施状況（市営住宅）



安否確認訓練「無事です」タオル実施状況（県営住宅）



負傷者等要援護者搬送訓練状況



非耐震家屋調査と対策

- ★昭和57年以前の木造住宅を調査
- ★高齢者世帯等被災時逃げ遅れに要注意
- ★各班の役員間で家屋情報確認
- ★必要に応じて希望者に「呼子笛」を配布

家屋世帯情報は取扱注意
(班役員のみ共有)

建物の耐震基準

29

耐震基準	耐震性	補 足
旧耐震基準 1980年以前	・震度5:倒壊しない ・震度5以上:規定なし	
新耐震基準 1981.6.1改正	・震度5:損傷が少ない ・震度7:崩壊・倒壊しない 余震など2度目の震度7には耐えられない場合がある	
2000年基準 2000.6.1改正	等級1 数百年に一度の地震で倒壊、崩壊等しない 数十年に一度の地震で損傷しない	1995阪神淡路大震災の教訓を受け新耐震基準を強化したもの ・不同沈下防止(地盤に合わせた基礎の作成) ・接合部の固定 ・耐力壁の均等化
	等級2 等級1の1.25倍の地震に耐える	
	等級3 等級1の1.5倍の地震に耐える	

2016年熊本地震における益城町(震度7が2回発生)における状況

	倒壊した建物の割合
旧耐震基準	28.2%
新耐震基準	8.7%
2000年基準	2.2%

国交省住宅局調査結果抜粋
「熊本地震における建築物被害の原因分析を行う委員会」報告書のポイント
<https://www.mlit.go.jp/common/001155087.pdf>

耐震基準の確認方法

30

手 段	確認方法		
建築確認通知書 又は 建築確認済証	建築確認日	～1981年5月31日	旧耐震基準
		1981年6月1日～	新耐震基準
		2000年6月1日～	2000年基準
住宅性能評価書	耐震性評価結果による		
耐震診断	診断結果による		

非耐震家屋調査の実施

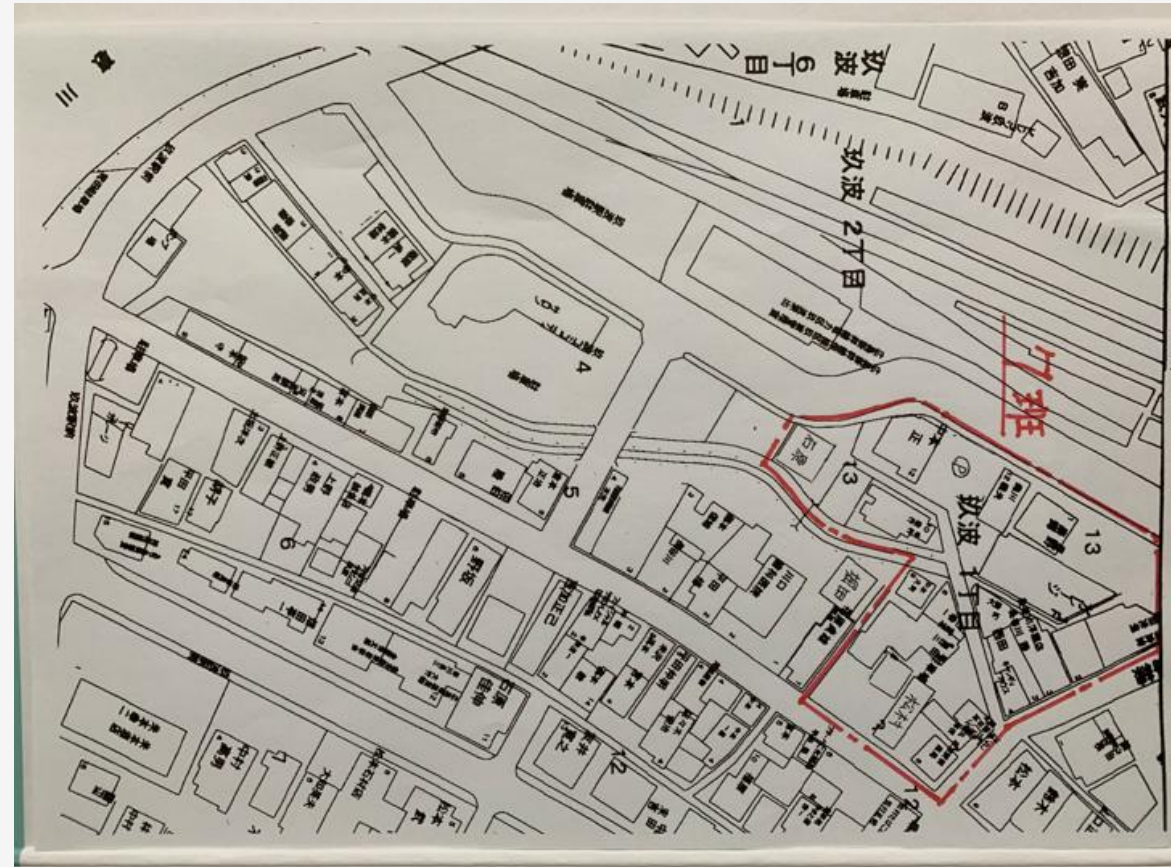


Google Earthから最新画像利用

班別家屋調査図（1班～4班）



非耐震家屋調査図（5班～7班）



非耐震家屋調査図（8班～10班）



班別家屋調査図（1班～6班） 非配布資料

班別家屋調査図（7班～10班） 非配布資料

黄色

非耐震家屋 44戸

外赤枠

高齢者等世帯 19戸

非耐震家屋調査と呼子笛配布

家屋調査集計表

班別	全戸	非耐震	呼子笛
1	12	4	4
2	9	3	2
3	15	0	5
4	8	5	2
5	5	5	0
6	11	6	3
7	12	6	2
8	12	4	6
9	8	6	3
10	14	5	2
合計	106	44	27

呼子笛は別途市営住宅に6個配布済

班別家屋調査図（1班～10班）



役員会開催状況

県防災アドバイザー柳迫先生からのアドバイス



訓練参加の各班役員



避難呼びかけ体制構築補助金実績報告

体制づくり報告書

別記様式第6号（第6条関係）

避難の呼びかけ体制づくり報告書

自主防災組織名	秋波一丁目自主防災会	
No.	項 目	内 容
※1	世帯数・人口	193世帯
※2	避難先	コミュニティサロン秋波
※3	災害想定区域	津波浸水想定区域
※4	避難情報の入手方法	市防災無線・メール、テレビ・ラジオ等防災情報
※5	呼びかけの順番（連絡体制）	A・B・Cグループ（10班）、市営7班、県営6班の連絡網
※6	呼びかけ担当者不在時の対応	連絡網の次席者で対応
※7	呼びかけのタイミング	発災時の臨時情報（想定）を受けて会長より発出
※8	呼びかけの範囲・優先度	秋波1丁目全域で連絡網による一斉伝達
※9	呼びかけ方法	連絡網（全23班）
※10	呼びかけ内容（メッセージ）	「12時30分に南海トラフ地震臨時情報が発令されましたので避難の準備をしてください。」
※11	呼びかけ・避難の確認方法	各班の役員が伝達状況をグループリーダーに報告
※12	避難経路	各班各戸が最短経路で避難
※13	避難所の開設	開設せず
14	他団体との連携	無し
15	その他	訓練参加者は各班の防災役員で実施

注 ※マークが付いた項目は体制づくり必須項目です。自主防災組織で定めた内容や確認したことを必ず記入してください。

事業報告書

別記様式第7号（第6条関係）

事業報告書

自主防災組織名	秋波一丁目自主防災会				
(金額:円)					
取組内容	実施の有無	実施時期	参加者数	実 績 額	備 考
防災講演会・研修会	㊤・無	12月22日	19人		第2回安否確認訓練
災害図上訓練（DIG）・まちあるき	有・無	月 日	人		
呼びかけ体制づくりワークショップ	㊤・無	9月 9日	20人	104,663円	連絡網構築と伝達訓練確認
避難訓練・情報伝達訓練	㊤・無	10月20日	13人		第1回安否確認訓練
訓練振り返りワークショップ	㊤・無	2月 9日	19人		第3回安否確認訓練と避難呼びかけ訓練
構築体制の周知とマイ・タイムライン等の地域普及に係る取組	有・無	月 日	人		
実 績 額 合 計				104,663円	

・避難の呼びかけ体制の構築日（又は事業の完了日）：令和7年 2月 9日

訓練資器材購入明細書

		実 績 額			
情報伝達訓練・避難訓練	安否確認タオル（イエロータオル） 1箱300枚入り（1枚200枚）	1点	52,463	52,463	アマゾン通販（別紙）
	昭和ブリッジ マルチキャリー SMC-1（アルミ製リヤカー）	1台	44,800	44,800	コメリパワー大竹店（別紙）
	レモン 非常用呼び笛	50個	148	7,400	コメリパワー大竹店（別紙）
	実 績 額			104,663	
ワークショップ	訓練振り返り				
	実 績 額				
マイ・タイムライン等の構築体制の周知と					
	実 績 額				
実 績 額 合 計				104,663	

※1 単価は、消費税込みの価格で記入してください。

※2 各取組内容の実績額は、事業報告書の実績額と一致させてください。

※3 レシートや請求書等、支出の明細がわかる書類がある場合は、品名欄に「別紙〇〇の写しのとおり」、合計欄に購入額を記入し、レシートや請求書等の写しを添付しても差し支えありません。

今後の活動取り組み

★訓練の継続（繰り返し訓練）

連絡網の充実（確実な情報伝達）

★「無事です」タオル未掲載の確認

未掲載世帯への訪問（安心声かけ）

★非耐震家屋への地震対策周知

室内安全対策（家具等転倒防止対策）

耐震補強対策又は耐震シェルター設置

★高齢者等要援護者避難訓練実施

対象者確認と支援者確保（予備員含）

自助・共助を本気で取り組む



終わりに

モノやケガは
直せば良いが
命は戻らない

ご清聴ありがとうございました



熊本地震（益城町）

2016/05/15